

タイトル		現状からスタートする「ミュージアムロード」の未来	
コンセプト	現状を認識し、低予算でスタート。特長を生かして世界的な街路とする。		
	「現実」とは	①山手幹線・JR灘駅・国道2号線で大きく分断されている。 ②歩道幅の拡張困難な道である。 ③日常用店舗（クリーニング、理容店等）医院、マンション、駐車場等が沿道を占めている。観光・周遊用の店舗は少ない。	
	「低予算」とは	①ソフト面（組織作り、情報共有・配信）から取り組み、大きな予算の必要なハード面（設備投資等）は必要を確認してから検討する。 ②既存イベントを利用し、種類・回数・規模を拡大していく。 ③地域主体（住民・企業等）を前提として取り組む。	
	「特長」とは、	①多種多様で強力な文化施設を有する。（動物園、美術館、文学館、スケート場、映画館、防災・国際交流各関連施設、敏馬神社等） ②住居、企業、店舗、教育施設が集積。各年齢層の住民。業界を代表する企業、特定分野に特化した企業も多い。各種学校が点在。	
	「世界的な街路」とは、	①特徴的なイベントを恒常的に開催し、配信することで世界の人に注目される街路となる。 ②文化・芸術を多角的にとらえ、様々なモノ・コトと掛け合わせることで生まれる世界でも珍しい特徴的な街路。 ③参加型イベントにより、世界の人々が来たがる街路。	

ロードマップ		フェーズ I (1~3年目想定) 基盤構築と関係者連携	フェーズ II (4~7年目想定) インフラ整備とブランド構築	フェーズ III (8~12年目想定) 持続的発展形態の確立	
概観(何をするか)		既存イベントを活用し、組織・情報配信手段・基本設備を整備する。 問題点・必要物の洗い出し。	計画進展に応じたインフラ投資。 関係者・エリアの拡大。 ブランド化。	運営・経済両面で独立体制確立。 必要であれば大型施設投資。	
組織	運営主体	神戸市(都市局未来都市推進課)が主体。 民間構成員を選出。 適時、専門家・有識者を選定。	神戸市の関わりを低減し、民間主体へ移行。	NPO(フェーズIIの適切な段階で設立)	
	関係者	行政 (神戸市灘区)	【初期計画策定、初期組織組成】 「ミュージアムロード アイデアコンペ」 組織・計画の基礎策定、法制面対応 各関係者の交渉・仲介 当初予算の策定	【全国向け情宣】 その他関係者への活動主体引継ぎ 神戸市としての全国向けPR	【NPOを補助】 NPO法人へのアドバイス、監督 神戸市として海外へPR
		主要施設 (動物園、美術館、 駅 鉄道、スケート場、 映画館、)	【ソフト・コンテンツの提供】 専門知見の提供。 単独もしくは複数でイベント企画。 「箱」の提供。	【業界内PR】 より広範囲の同種施設と連携しイベント企画。	【世界規模のPR】 海外施設と連携しイベント企画。
		地域住民 (含む 高齢者施設、 障害者支援施設)	【まず参加するから始める】 イベントとの関係を徐々に深める。(観客→モニター →ボランティア→出店・主催者) 町内会の再編成	【主催者側への移行】 主催者の立場を高める。 全ての年齢層を対象にする。	【担い手としての成長】 NPO法人の社員として参加。
		近隣店舗 近隣商業施設	【側面協力】 イベント支援・協同(テーマに合わせる、広場での 営業) インフラ協力(清掃、ごみ箱設置)	【集客に一役買う】 店舗イメージをMRの統一イメージに合わせる。 歩道の活用、ベンチ・テーブル設置 ナイトタイム・エコミー	【景観の担い手】 建物の改装・改築・新築時に景観ガイドラインに合わせる。
		近隣企業 (近隣が本社の企業、 地元有力企業。)	【企業と社員の参加】 社員のイベント・運営協議会への参加 各社の企業メセナとのすり合わせ。 技術協力、資金提供。	【資金提供と技術協力】 資金提供 ミューラルアート広告主 文化活動参加による企業への効果。	【NPOとの一体参加】 社員によるNPOへの参加。 大型施設への資金提供・技術協力。 NPO収益性向上のサポート
		近隣教育施設 (小中高大、 特別支援学校)	【観客から活動参加へ】 ①大学による空間デザイン、技術(IT)アイデアの提案。 ②学生によるイベント運営、ボランティア参加・出演	【アート・教育コンテンツの供給】 アート面での参加者。 特別支援学校によるUD設備の検証 学校部活動の地域移行「神戸モデル」と関連	【人材育成と持続的なコンテンツ更新】 大学による当PJの学術的研究。 高校生によるガイドやPR。
		エリア全体	共通コンセプト・ルールの策定	ルールの修正	各種コンテスト(外観、内装、ウィンドウ)
ソフト面	イベント	基本方針	既存イベント(「1 DAY JAZZ ROAD」「TOMARIGI MARKET」等)を活用し実証実験。	新規イベントの創出 人気イベントの定期開催 夜間利用	特定マニア向け全国・世界的イベントを開催。 MICE(会議、展示会等)の誘致
工程	「実施の難易度を下げる(制度・備品・倉庫を整備)」「地域とのつながり拡大」「参加者拡大」「ITによる関係者連携・情報配信」	ルール作り(随時改正) 「やりたい人」が挑戦できる制度確立。 必要な設備の追加。	イベントのブランド確立。		
コンセプト・例	【文化・芸術との掛け算】「文化・芸術×○○」の○○に医療、教育、高齢者、障害者、建築、動物、スポーツ、鉄道などエリアに関するものを入れる。 【例】「安藤忠雄の建築」「パンダがいた街」「動物と美術の融合」「鉄道3社や旧臨港鉄道跡遊歩道を使ったイベント」「神戸市の友好親善都市をテーマに」				
設備・ハード面	道路・広場	エリア全域	公園でのイベント用テーブル、イス。 人に与える効果を考え統一デザインを決定。 アートベンチ	透水性カラー舗装や再生可能エネルギーによる街灯等を統一イメージで設置。 各交差点の南北に共通ゲートを設置。	ARIによる案内。 自動運転バスによるエリア内循環。 駅・高架に夜間のプロジェクションマッピング。
	道路・広場	【A区間】 動物園～灘駅北	【特徴】動物園までの子連れが多い。道幅狭く、車通りも少ない。阪急高架下は8差路で信号が複雑。阪急高架下に未利用エリアあり。	阪急高架下交差点をスクランブル化し1回で歩行者が横断できるようにする。高架南の交差点道路は「赤点減信号」を利用し、交差点信号切り替えは3回にする。	阪急高架下交差点の歩行者待ち時間をプロジェクションマッピング等で体験時間にする。 阪急高架下の未利用エリアをアンテナショップに利用。
		【灘駅】 灘駅と南北の公園	【特徴】南北の公園は分断されている。イベント時はコンコースとの同時利用で一体感を出すくらいしか手が無いが実施されていない。	公園は現在の自然を生かしつつ、デザインシールドを設置し、全天候型広場とする。	駅ビル化のタイミングで「南北一体化」「コンコース階と地上面を緩やかにつなげる」工夫をする。
		【B区間】 灘駅南～2号線北	【特徴】山手幹線と2号線のバイパスにもなっている。交差点は歩行者横断により左折車が渋滞。	「灘駅南交差点」「岩屋駅西交差点」のスクランブル化。 福祉センターの円筒部分の立体LEDディスプレイ	路側帯を「歩道」「ETCパーキング」「バス停」に分けて、歩行者・店舗の利用部分を増設する。
		【2号線交差点】	【特徴】先進的な東側陸橋。一方、西側横断歩道の利用も多い。北側の東西横断歩道は2号線からの車の侵入時に危険。		西側に歩道橋を増設し東西の歩道橋を連結。 両歩道橋の間は空中大広場とする。
		【C区間】 2号線南～泉美	【特徴】利用車両は灘浜臨浜線から2号線に渡る輸送車両がほとんど。阪神高速の橋梁の関係で中央分離帯が無駄に広い。	日出脇浜線交差点をスクランブル化し、車線減・中央分離帯縮小による歩道の大幅拡張。	中央分離帯縮小による歩道拡張は、隣接する渚中学校、HAT神戸灘の浜エリア～灘の浜小学校・灘さくら支援学校との一体感が生まれる。
周辺エリアとの連携	「フィッシュ・ボーン」	魚の骨に例えるとMRIは脊柱骨であり、細い骨のように路地がある。魚の骨のように一体感をもって発展を目指す。「街全体がアート」	①道路・歩道の統一デザイン。 ②ミューラルアートと壁面緑化を進める。(大規模修繕、企業協賛、落書き化防止) ③店舗のイベント参加。	東西にどこまで活性化されるかがポイント。 【例】阪急高架下、JR線路沿い。	



神戸文学館

王子動物園

関西学院大学予定地

横尾忠則現代美術館

原田の森ギャラリー

阪急王子公園駅

一方通行化

灘駅北公園 雨天考慮

阪急高架下交差点 スクランブル化

高架下にアンテナショップ

JR灘駅

立体LEDディスプレイ

青陽灘高等支援学校 (せいようカフェ)

灘駅南公園 雨天考慮

灘駅南交差点 スクランブル化

自動運転バス (王子動物園⇄県立美術館)

臨港鉄道跡(ミニSL)

ETCパーキング

歩道幅拡張 休憩スペース

阪神岩屋駅

岩屋駅西交差点 スクランブル化

敏馬神社

西歩道橋増設+空中広場

BBプラザ美術館

MUSEUM ROAD
HAITOP

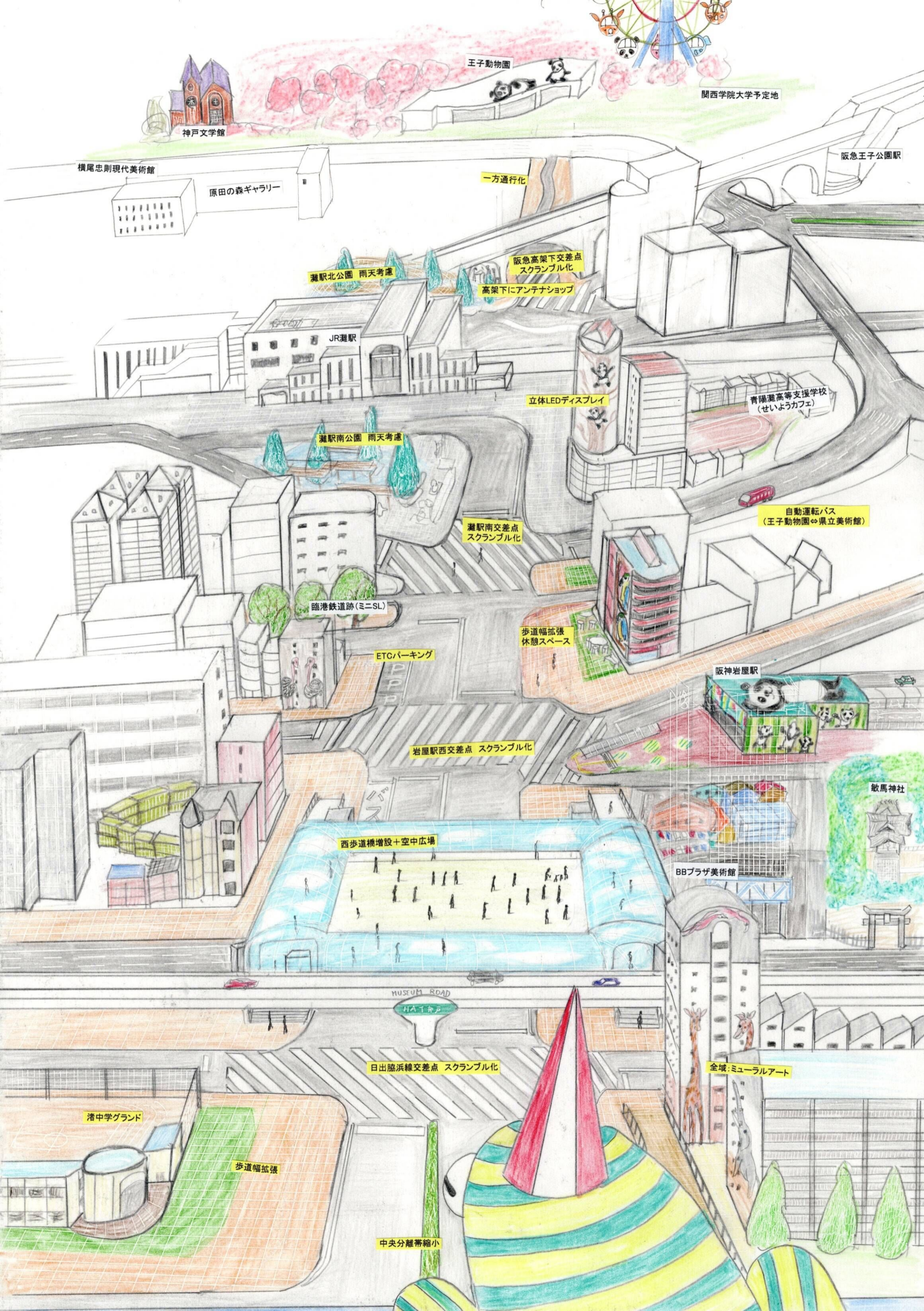
日出臨浜線交差点 スクランブル化

全域: ミュージカルアート

渚中学グランド

歩道幅拡張

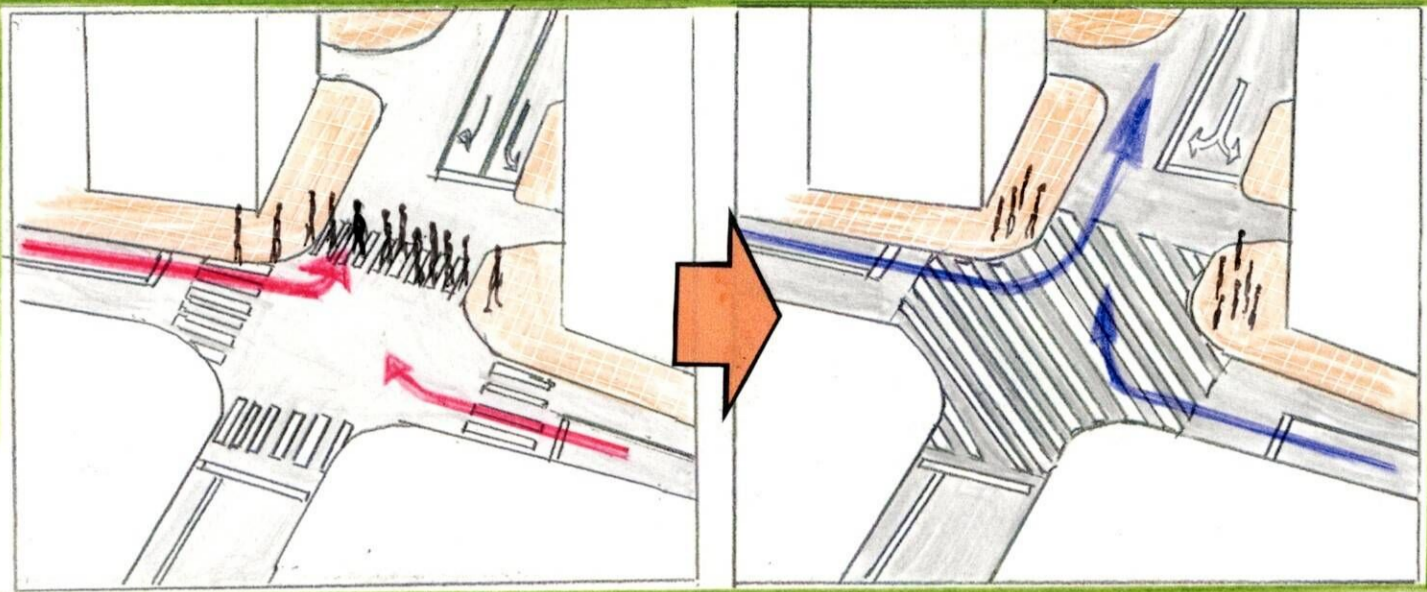
中央分離帯縮小



設備・ハード面

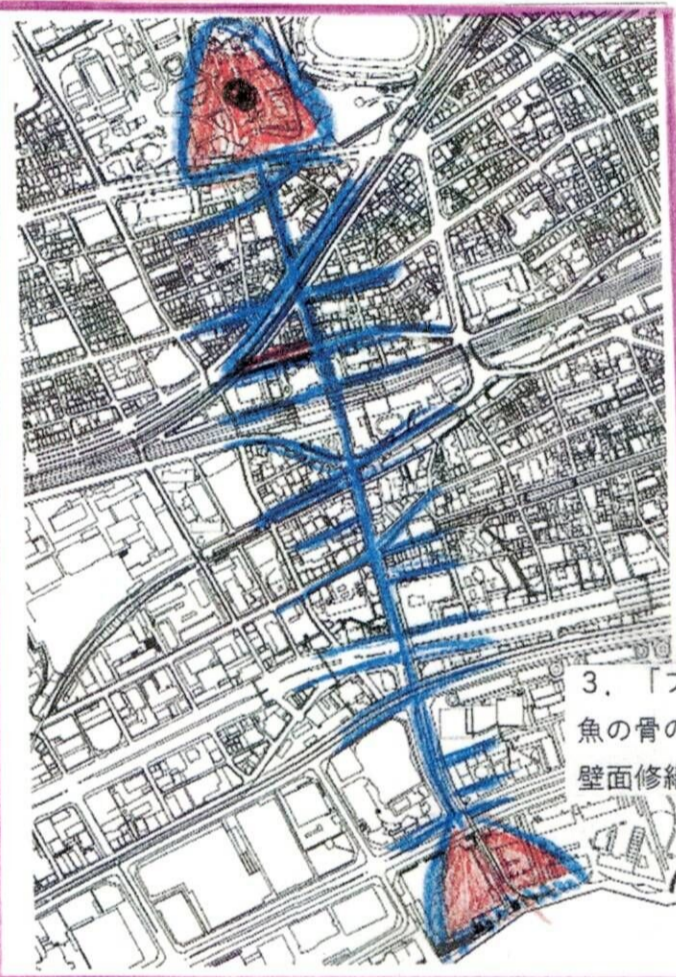
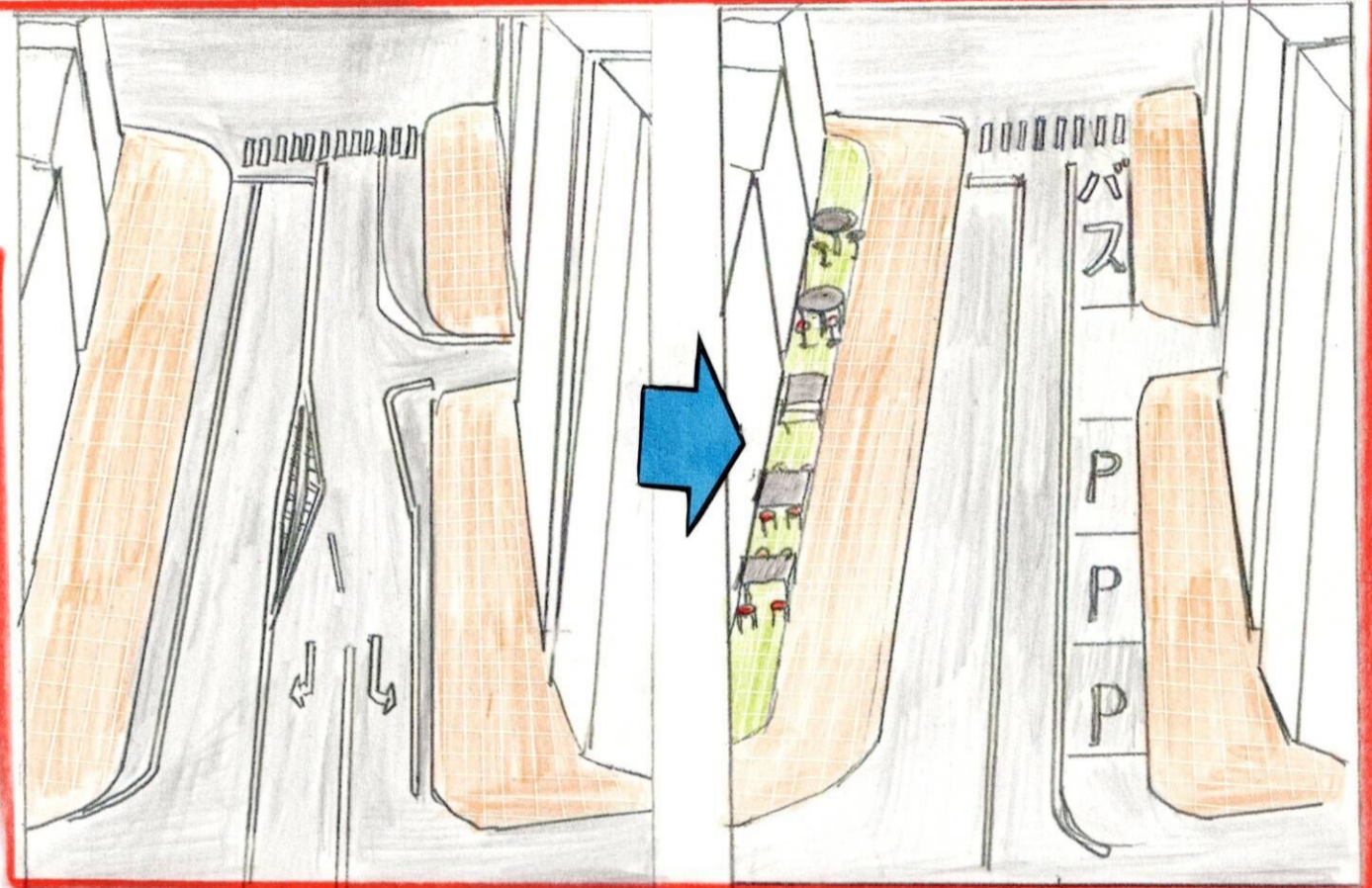
実施度

- ★★★ 即効性あり。コスト低位。早期実施したい。
 - ★★ 計画の進捗・浸透を確認してから実施。
 - ★ コスト大。強いニーズを確認して実施。
- 白星(☆)表示は開発中の技術を含んでいる。



1. 交差点のスクランブル化 ★★★
特に通勤時間帯は歩行者待ちの車で渋滞。
左折車の渋滞解消で、右折車にも余裕ができる。

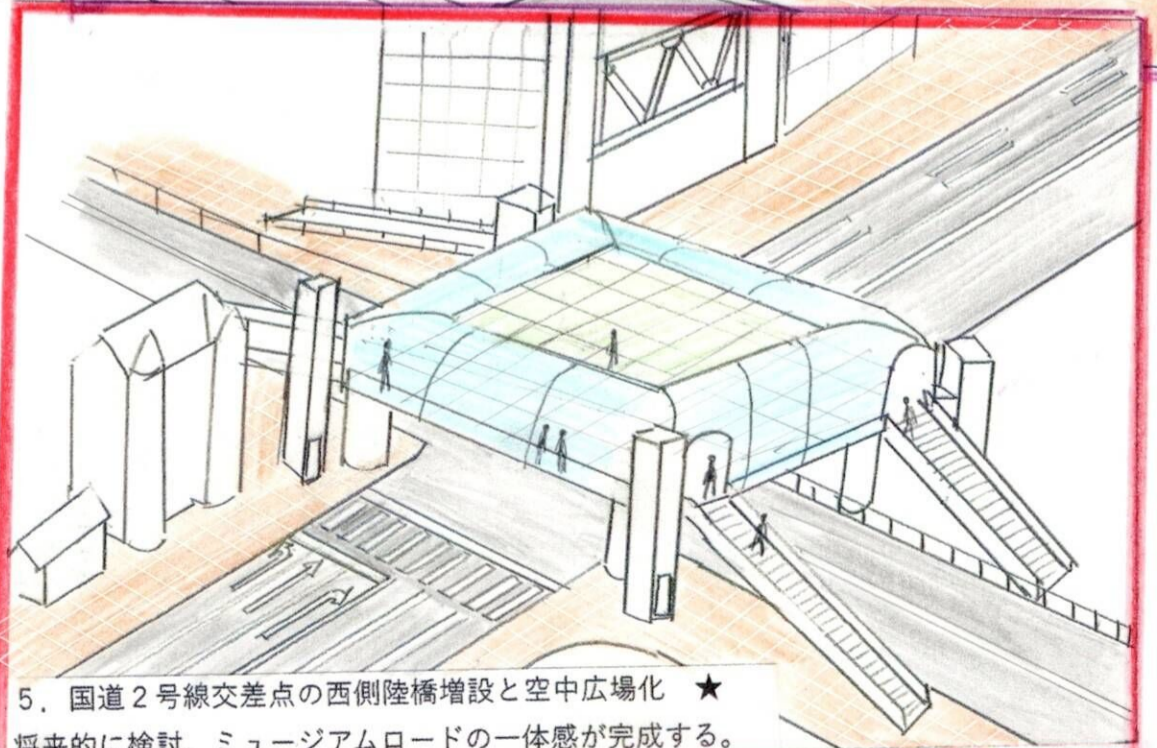
2. 交差点のスクランブル化の波及効果
信号待ち時間の短縮で専用レーンの削減可。
①路側駐車場設置。ETC徴収で利便性向上。☆☆
②歩道増幅。ベンチ・飲食スペース確保。★★
③動物園⇄県美間の自動運転バスを運行。☆☆



3. 「フィッシュ・ボーン」計画 と「ミュージラルアート(壁画)」★★
魚の骨のように一体感を持ってエリアを広げる。「ミュージラルアート」も有効。
壁面修繕や企業イメージ広告を兼ね、壁面緑化併用で落書き防止・イメージ統一。



4. 立体LEDディスプレイ ★
「新宿東口の猫」が有名。市営住宅の巨大円筒部分を活用。



5. 国道2号線交差点の西側陸橋増設と空中広場化 ★
将来的に検討。ミュージアムロードの一体感が完成する。